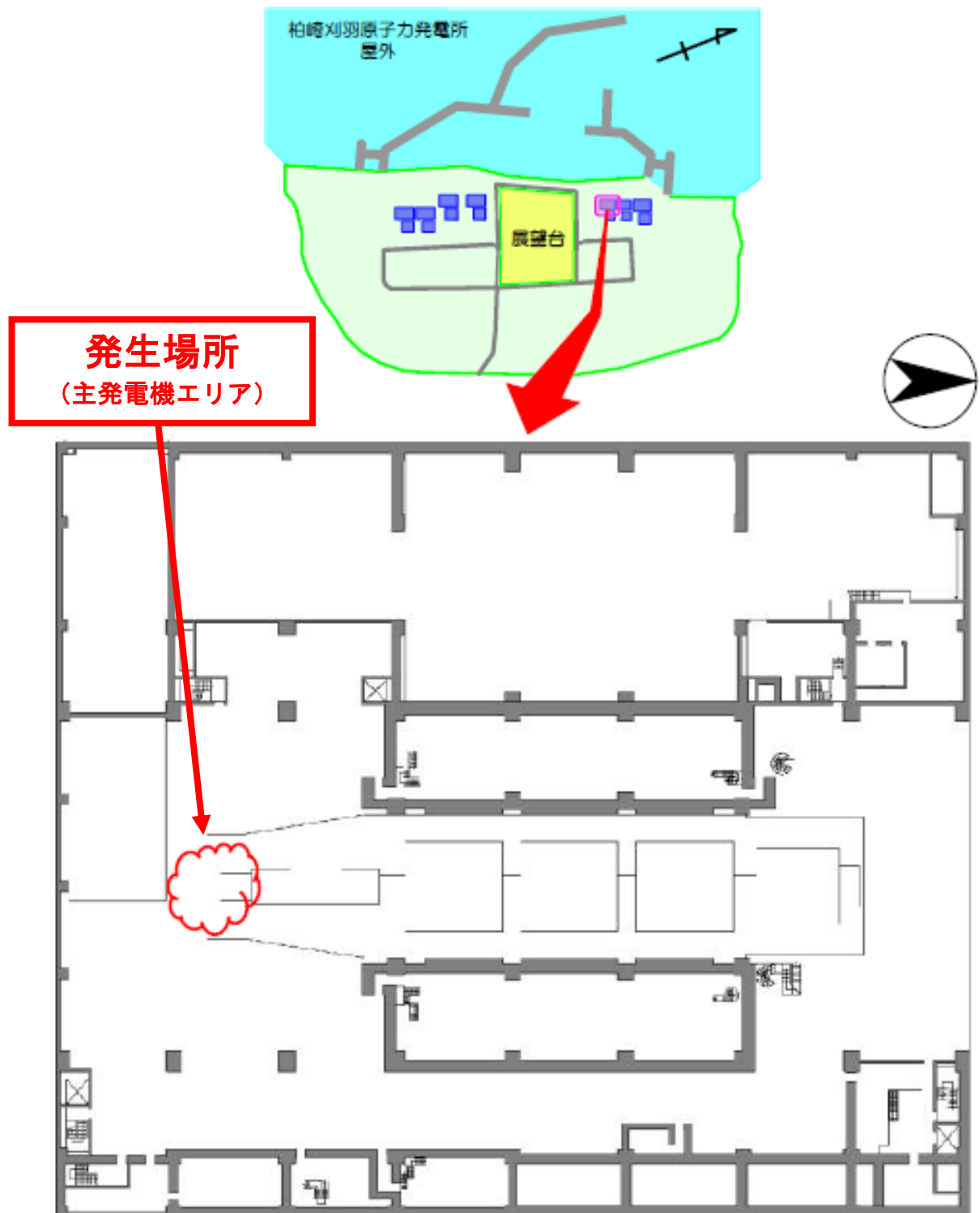


区分：Ⅲ

号機	7 号機	
件名	タービン建屋（管理区域）における油漏れについて	
不適合の概要	2026 年 9 月 7 日午前 10 時 15 分頃、7 号機タービン建屋 2 階の主発電機エリアにて、主タービンの油系ポンプを起動したところ、主タービンの発電機側軸受の軸振動計を取り外した開口部から、潤滑油が漏えい（約 20L）していることを確認しました。 そのため、油系ポンプを停止し、午前 10 時 18 分に漏えいは止まっております。 漏れた潤滑油はすでに拭き取りを行っており、当該エリア外への流出はなく、環境への影響はありません。 なお、潤滑油の漏えいがあったことから、一般回線にて公設消防へ連絡しました。	
安全上の重要度／損傷の程度	<安全上の重要度> 安全上重要な機器等 / その他	<損傷の程度> ☐ 法令報告要 ☒ 法令報告不要 ☐ 調査・検討中
対応状況	今後、油が漏えいした原因調査を実施し、再発防止対策を講じてまいります。	

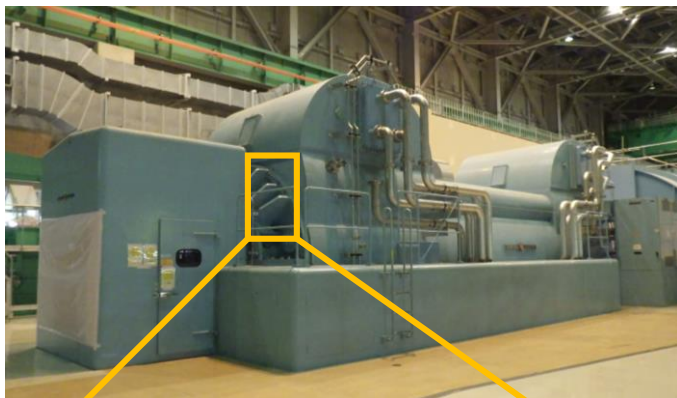
発生場所概略図



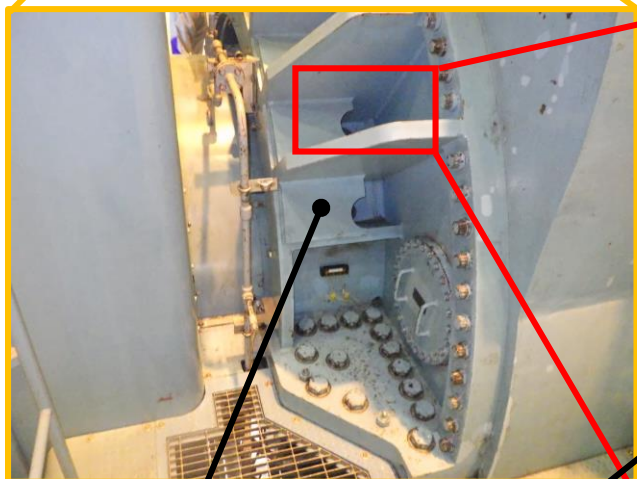
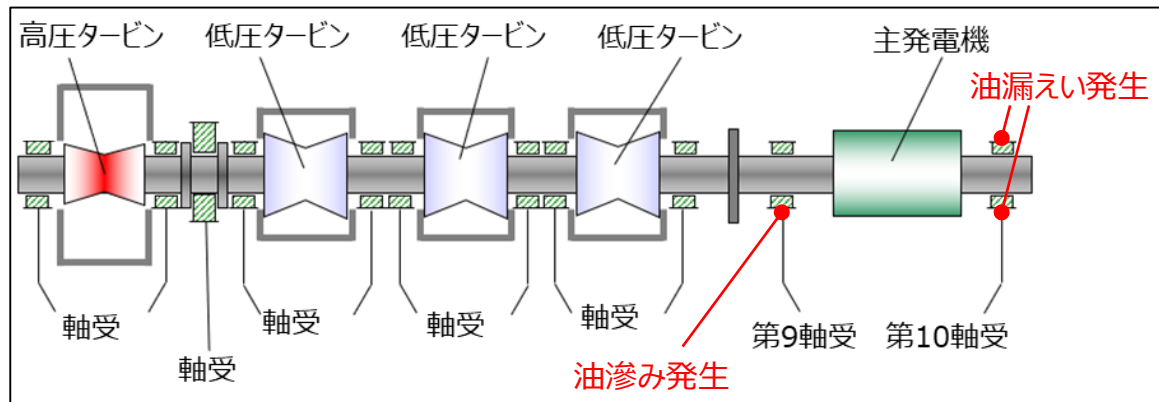
7号機タービン建屋（管理区域）における油漏れについて

2026年9月8日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

7号機 主発電機



7号機 主タービン・主発電機 概略図



第10軸受

軸振動計

- ・キャップ・軸受内部に設置（1つの軸に2つある）
- ・ケーブルを軸受外部にある振動検出器に接続



漏えい発生時、軸振動計の損傷を防ぐために
軸振動計を外して作業を実施していた